

# Kakehashi いさはや

2024

Vol.11

令和6年3月発行



諫早市 在宅医療・  
介護連携支援センター



# 相談内容を振り返る ～みえてきた現状と問題点～

センター開設時からこれまでに寄せられた相談を振り返りました



図3 在宅医療・介護連携推進事業の手引きVol.3より

これまでかけはしいさはやに寄せられた相談は128件です。

相談件数の年度別推移は、徐々に減少傾向にあります。(図1)

相談者の内訳は「介護支援専門員」が28.1%、「医療連携室」が27.4%と全体の半分以上を占めています。(図2)

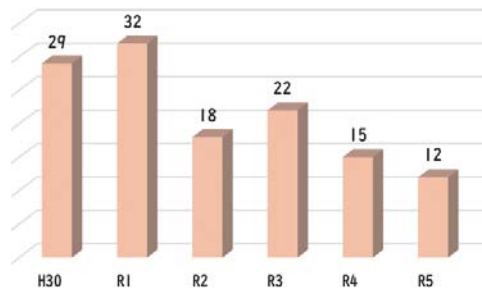


図1 相談件数年度別推移

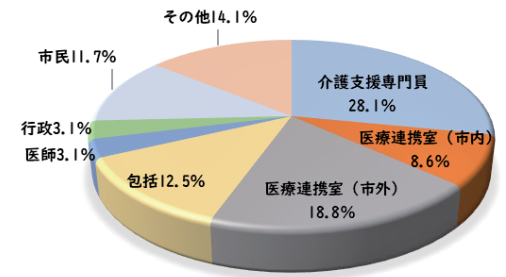


図2 相談者内訳

厚生労働省が示す、医療と介護の連携が必要な4つの場面(図3)ごとに、相談内容を分類しました。(抜粋)

**【日常の療養支援】**では、主に施設入所を検討されている方への施設情報や在宅介護サービスについての相談がありました。施設についての相談には、当センターが作成している「施設情報」から必要な情報を提供しています。

**【入退院支援】**では、入院時、あるいは退院のめどが立った時点で、次の療養先を検討される際に、施設情報や訪問診療可能な医師の問い合わせが多くありました。また、身寄りのない方の支援については、関係者間で協議を重ねている事例も多くみられました。

**【看取り】**では、特に市外の連携室からが多く、看取りまで入所可能な施設、あるいは在宅看取りのための在宅医の紹介という相談がありました。在宅医については、担当理事と協議をし、医師を紹介しています。

## 【相談内容を4つの場面に分類】

### 【日常の療養支援】

- 1型糖尿病、インスリン注射が必要な方が入所できる施設を教えてください
- 在宅酸素療法中の方が入所できる施設を教えてください
- 胃ろうあり、喀痰吸引の必要な方が利用できるショートステイを教えてください
- 喀痰吸引ができる訪問介護事業所を教えてください
- 透析中の方が入所できる施設（通院送迎ができる施設）について教えてください
- 透析中の方を送迎してくれる介護タクシーについて教えてください

### 【入退院支援】

- 胃ろう造設予定。受け入れ可能な施設について教えてください
- 小腸ストーマ・IVH挿入中の方を受け入れてくれる施設はないか
- 透析治療のできる病院に転院予定だったが、空きがなく、施設を探している。  
入所出来る施設はないか
- 通院が難しくなってきたので、在宅医を教えてください
- 身寄りなし。生活保護。要介護5。身元保証人がおらず、入所先が見つからない。入所できる施設はないか

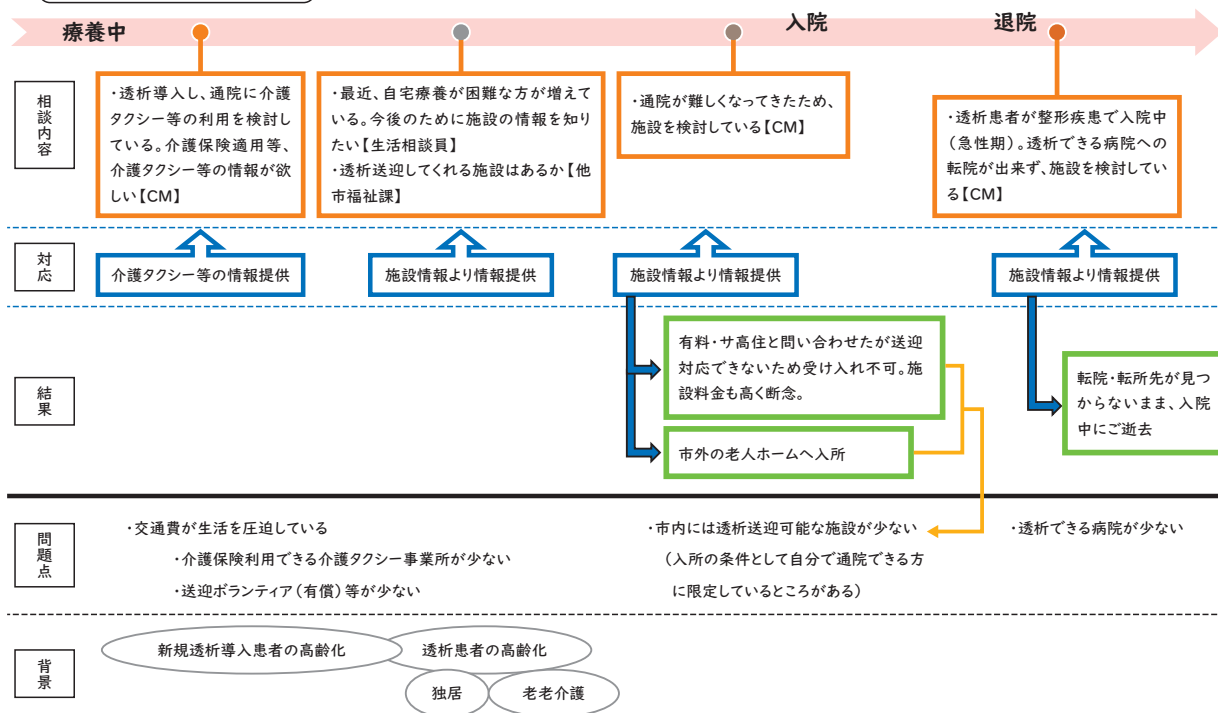
### 【急変時の対応】 なし

### 【看取り】

- 肺がん・転移性肝腫瘍。看取りまで可能な施設を教えてください
- 婦人科系がん。将来の在宅移行に備えてかかりつけ医（在宅医）を紹介してほしい
- すい臓がんステージIV。在宅看取りを希望。在宅医を紹介してほしい
- 慢性心不全。在宅看取りを希望。循環器専門の在宅医を教えてください

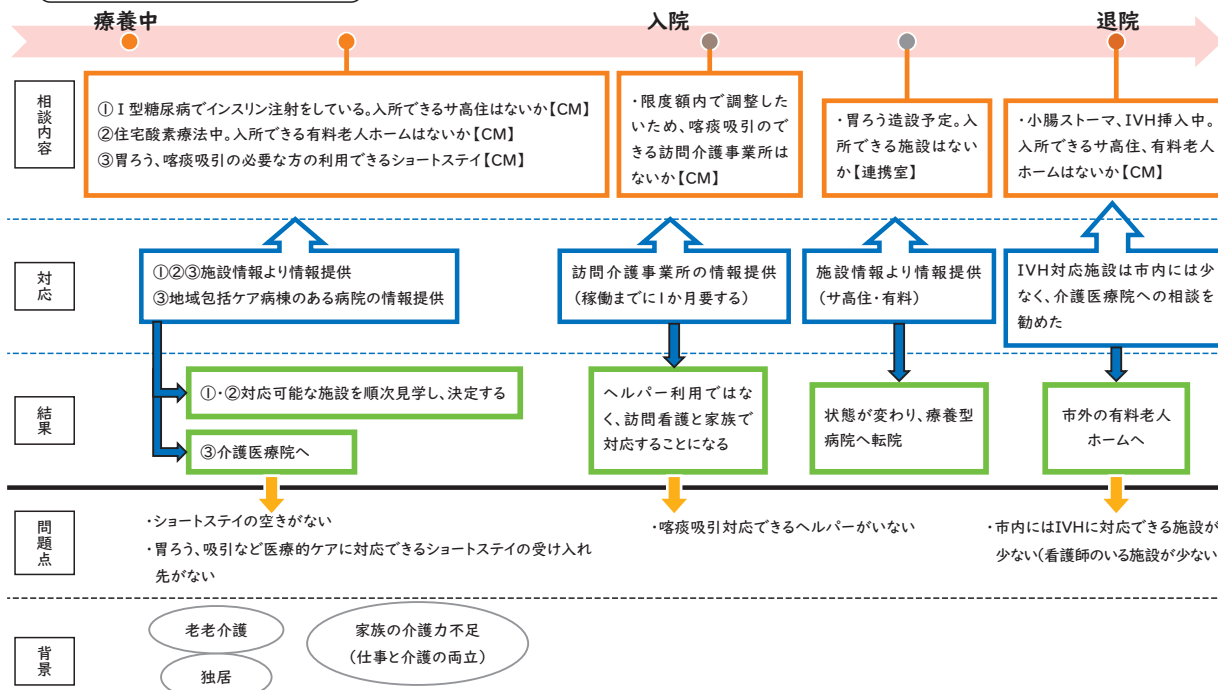
透析治療中の方や医療的ケアのある方に関する相談も多く寄せられ、相談対応や結果から、問題点やその背景がみえてきました。

### 透析治療中の方の支援



高齢者や介護を必要とする透析患者の通院手段については、大きな課題だと考えます。

### 医療的ケアのある方の支援



医療的ケアのある方の施設入所やショートステイ利用について、受け入れが難しい現状があり、こちらも課題だと考えます。

### 令和5年度第2回諫早市在宅医療介護連携推進会議で報告

1月25日に開催された同会議にて、相談内容から在宅で療養するためにみえてきた現状と問題点を報告しています。  
いつまでも住み慣れた自宅で自分らしく過ごすためにはどうしたらいいか。  
これからもみなさんと共に考えていきたいと思ひます。

## 令和5年度第2回 在宅医療と介護の市民講演会を開催しました

令和6年2月10日(土)  
小野ふれあい会館

小野ふれあい会館で市民講演会を開催しました。

松尾先生からは「動けなくなったらどこで過ごしたいですか？」という質問から始まり、在宅医療について知ることができ、自分だったらどうするかを考えるきっかけになるお話でした。田中先生からは実際の訪問歯科診療の様子を写真でご紹介いただきながら、どのような方が訪問対象となるのかなど気になるポイントをお話いただきました。八木先生からは、かかりつけ薬局、かかりつけ薬剤師を持って、普段から薬剤師を活用してほしいというお話がありました。



参加者からは「自分の終末について真剣に家族と良く話し合っておくことが大事と改めて思いました」などのご意見をいただきました。

1. 住み慣れた地域で  
自分らしく暮らしていくために  
～地域包括ケアの取り組みについて～  
市地域包括ケア推進課 山下佳苗
2. 在宅医療から看取りまで  
～最後に穏やかな死を迎えるために～  
美南の丘クリニック 院長 松尾 彰
3. 訪問歯科について  
医療法人 たなか歯科医院 院長 田中広海
4. 薬剤師も在宅へ訪問します  
そうごう薬局諫早小野町店 八木ひとみ

## 在宅医療・介護関係者研修会を開催しました

令和5年11月24日(金)

### 『お口の気づきから連携を考える』

増山 隆一先生  
増山歯科医院 院長



増山歯科医院院長、増山隆一先生をお迎えし、研修会を開催しました。

利用者の口腔内を見ることや何か気づいた時に歯科医に相談することが『ハードルが高く難しいのではないかと』という視点から、改めて口腔内を確認する必要性について、詳しくお話をいただきました。

どのような視点で見るとよいのか、また、口腔内の気づきから歯科医師会に相談できる方法のご提案もありました。

ぜひ、今一度、利用者様の口腔内を確認してみませんか？

## 諫早市在宅医療介護連携推進会議が 開催されました

令和6年1月25日(木)

地域包括ケア推進課より、令和5年度ACP普及啓発についての実績報告や本事業の進捗状況等の報告がありました。

県央保健所からは、高齢者施設等実態調査及びACPに関するアンケート結果から、諫早市の現状等報告があり、かけはしいさはやからも相談内容からみえてきた現状と問題点について、報告しました。

その後4つのグループに分かれ、4つの場面ごとにそれぞれの現場における状況を共有するために、意見交換しました。委員の皆様からは「病院の専門職と在宅の専門職にギャップがある」「地域包括ケア病棟の活用が浸透していない」などのご意見があり、情報共有の場となっていました。



### Information

## 『お口の悩メール』 始まりました



諫早市歯科医師会様が相談事業を始められました。

お口の状態が気になる利用者さんの口の写真を添付し、メールで相談することができます。

かけはしいさはやのホームページからも、左のチラシをダウンロード・印刷できますので、ぜひご利用ください。



## 諫早市在宅医療・介護連携支援センター かけはしいさはや

〒854-0061 諫早市宇都町29-1 健康福祉センター内  
TEL: 46-3166 FAX: 46-3167  
E-mail: isahaya.zaitaku.renkei@iaa.itkeeper.ne.jp  
URL: <https://kakehashi-isahaya.com/>

かけはしHP

